

環境法政策学会第18回学術大会

Japan Association for Environmental Law and Policy

2014年6月21日(土) 名古屋大学 東山キャンパス (名古屋市千種区不老町)

プログラム

- 10:00~12:00 分科会<個別報告> (工学研究科中央棟 (ES総合館))
- | | | | |
|-------|-----|---------|-----------------------|
| 第一分科会 | 2 階 | 021 講義室 | <報告20分、コメント5分、質疑応答5分> |
| 第二分科会 | 2 階 | 022 講義室 | // |
| 第三分科会 | 2 階 | 024 講義室 | // |
| 第四分科会 | 3 階 | 034 講義室 | // |
| 第五分科会 | 2 階 | 025 講義室 | // |
- 12:00~13:00 理事会 (工学研究科中央棟 (ES総合館) 1階会議室)
- 13:00~13:30 会員総会 (IB電子情報館 大講義室)
- シンポジウム「アジアの環境法政策と日本」 (IB電子情報館 大講義室)
- 13:30~13:40 <開催校挨拶>
- 13:40~16:00 <第1部 報告>
- 16:00~16:15 休憩
- 16:15~17:45 <第2部 パネルディスカッション>
- 18:00~ 懇親会 (レストラン花の木)
- *会費 5,000円 当日の大会受付時にお支払いください。

[注意事項とお知らせ]

- 分科会とシンポジウムの詳細は、裏面を参照ください。
*会場はいずれも、法学部・法学研究科、環境学研究科の建物ではありませんのでご注意ください。
- 開催校への質問等は、下記電子メール宛にお願いします。
名古屋大学開催校事務局 (赤渕芳宏) : jaelp2014@gmail.com
- 会員外の方とご参加される場合には、ご参加される会員外の方のお名前とご所属を事務局までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。事務局 : kankyo@shojihomu.or.jp

<環境三学会合同シンポジウム>

日時: 2014年6月1日(日) 13:00~17:45

場所: 武蔵野大学有明キャンパス (江東区有明 3-3-3) 3号館 301教室

テーマ: 「日本の持続可能な発展戦略を問い直す—その現状と政策形成をめぐる課題—」

※詳細は別添のパフレット参照

環境法政策学会 第18回学術大会プログラム

《参加者・報告内容等一部が変更になる可能性があります》

第一分科会 気候変動・エネルギー〔2階021講義室 司会者：岩間 徹（西南学院大学）〕

- ①自治体エネルギー条例の類型と変遷
(報告者：増原直樹（総合地球環境学研究所）／コメンテーター：内藤 悟（東北公益文科大学）)
- ②地球温暖化への重要インフラ施設のレジリエンス強化施策の方向
(斎藤照夫（損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント）／田中 充（法政大学）)
- ③クリーン開発メカニズム（CDM）の下で導入された技術の研究
(小松 潔（日本エネルギー経済研究所）／沖村理史（島根県立大学）)
- ④京都議定書の経験を踏まえた新たな枠組みについて
(笠井俊彦（新エネルギー・産業技術総合開発機構）／西村智朗（立命館大学）)

第二分科会 生物多様性〔2階022講義室 司会者：交告尚史（東京大学）〕

- ①地球環境条約の実施を通じた政策移転—侵略的外来生物管理法制度導入過程の事例研究による—
(上河原献二（滋賀県立大学）／遠井朗子（酪農学園大学）)
- ②環境条約の国内効力と直接適用
(磯崎博司（上智大学）／交告尚史（東京大学）)
- ③生物多様性保全政策としての EU 環境責任指令の新規性
(二見絵里子（早稲田大学大学院）／磯崎博司（上智大学）)

第三分科会 国際法・外国法〔2階024講義室 司会者：西井正弘（大阪女学院大学）〕

- ①アメリカ合衆国西部における反環境保護運動：ポスト「環境の10年」の地に根ざした抵抗
(藤原文哉（横浜国立大学大学院）・及川敬貴（横浜国立大学）／下村英嗣（広島修道大学）)
- ②環境リスク管理における一貫性（consistency）原則の法規範性と課題—EU 及び WTO 判例の分析からの示唆
(藤岡典夫（農林水産政策研究所）／下山憲治（名古屋大学）)
- ③気候変動分野の立法・国内実施における国際法、EU 法、加盟国法の関係に関する一考察
(木村ひとみ（大妻女子大学）／中西優美子（一橋大学）)
- ④科学的不確実性の伴う健康リスクに着目したナノマテリアルの予防的規制に関する国際的動向と平時リスクコミュニケーションの現状と課題
(中山敬太（早稲田大学大学院）／赤渕芳宏（名古屋大学）)

第四分科会 環境訴訟〔3階034講義室 司会者：紙野健二（名古屋大学）〕

- ①中国の環境公益訴訟制度の理念と実態
(奥田進一（拓殖大学）／片岡直樹（東京経済大学）)
- ②仮処分「不当」申立者の損害賠償責任—福島県（旧）原町市の産業廃棄物処分場をめぐる—
(神戸秀彦（関西学院大学）／渡邊知行（成蹊大学）)

第五分科会 その他環境法の問題〔2階025講義室 司会者：北村喜宣（上智大学）〕

- ①使用済小型電気電子機器等リサイクル促進に関する法施策の運用等の提案
(戸田博之（神戸大学法政策研究会）／下井康史（千葉大学）)
- ②東日本大震災後の節電要請にみる行政指導の法的位置づけ
(永見 靖（日本環境安全事業）／桑原勇進（上智大学）)
- ③責任あるサプライチェーンマネジメント—CSRとしてのデュー・ディリジェンスの法的意義—
(宮崎正浩（跡見学園女子大学）／織 朱實（関東学院大学）)

＝＝

シンポジウム (IB電子情報館 大講義室)

「アジアの環境法政策と日本」

☆第1部 報告☆ 司会：北村喜宣（上智大学）、南 諭子（津田塾大学）

- 13:40～13:45 趣旨説明 大塚 直（早稲田大学）
- 13:45～14:15 総括報告：アジアの環境法政策の現状と課題 作本直行（日本貿易振興機構）
- 14:15～14:35 中国の環境問題と環境法政策（1）—学問的観点から 奥田進一（拓殖大学）
- 14:35～14:50 中国の環境問題と環境法政策（2）—実務的観点から 岡崎雄太（環境省）
- 14:50～15:10 アジア諸国における環境分野の公衆参加と司法アクセス 大久保規子（大阪大学）
- 15:10～15:25 アジアにおける開発援助と環境保護 福田健治（弁護士・早稲田大学）
- 15:25～15:40 北東アジアにおける国際環境問題と地域協力 沖村理史（島根県立大学）
- 15:40～16:00 コメント 片岡直樹（東京経済大学）・田中聡志（環境省）

◆16:00～16:15 ——— 休憩（質問票回収） ———

☆第2部 パネルディスカッション☆ 司会：柳 憲一郎（明治大学）、磯野弥生（東京経済大学）

○16:15～17:45

- パネリスト：①作本直行（日本貿易振興機構）
 ②奥田進一（拓殖大学）
 ③大久保規子（大阪大学）
 ④下山憲治（名古屋大学）
 ⑤浅田 聡（トヨタ自動車）
 ⑥田中聡志（環境省）